

第5学年 外国語科学習指導案

日 時 令和3年11月18日(木) 公開授業①
児 童 5年1組 男10名 女11名 計21名
指導者 橋本 由利江 (HRT)
小山 カオ (ALT)

授業構想の視点 ALTの有効な活用

1 単元名 Unit 7 What would you like? (Here We Go! 5)

2 単元について

(1) 児童観

本学級の児童はこれまでに、自分の好きなものや誕生日、欲しいものなどについての表現に慣れ親しみ、やり取りする活動をしてきた。また、I have～. という表現を使って、身の回りのものや時間割などを聞き取ったり話したりする活動に取り組んできた。本単元に関わる内容としては、4年生での What do you want?/I want ～.の表現が挙げられる。また、5年生では What do you want for your birthday? の表現でのやり取りもしてきた。このように、欲しいものをたずねたり答えたりする表現を用いたコミュニケーションに慣れ親しんできている。

また、これまでの活動を通して、外国語を用いて友達とのやり取りをすることの楽しさを感じながら、既習を使ってコミュニケーションしようとする態度や、相手の意図を汲んでやり取りしようとする態度が身に付いてきている。活動の中では、互いに教え合う (Assist) 姿、外国語学習のスタートにおいて大切な4つのポイント (Smile, Eye Contact, Clear Voice, Response) を意識する様子が見られてきている。

(2) 教材観

本単元は、料理を注文したり、値段をたずねたりして受け答えできるようにすることをねらいとしている。これまで学習してきた欲しいものをたずねる What do you want?や欲しいものを伝える I want ～.の表現の丁寧な言い方として、What would you like?や、I'd like～.という表現を学んでいく。さらに、値段をたずねる How much is it?や値段を答える It's ～yen(dollars). を学び、使えるようにしていく。また、レストランでの店員と客のやり取りを通して、注文したり、値段をたずねたりすることだけでなく、May I help you?/Yes, please./Here you are./Enjoy your meal. など、店でのやり取りの基本的な表現にも慣れ親しむことができる。また、世界各国の食べ物や物価を知ることで、異文化に触れることもできる教材である。

(3) 指導観

本単元のゴールとして「Daito レストランに2年生を招待しよう!」を設定した。「レストラン」という状況設定は、誰もが日常の経験を生かして容易に入り込みやすく、店員と客という立場も明確につかみやすいものである。故に、児童の活動において「状況設定」や「役割設定」をより明確に把握できる利点がある。レストランで注文する活動をするにあたり、同学年のみでの活動より、低学年を巻き込むことで5年生自身も楽しみながら、相手意識をより明確にして活動できると考える。単元のゴールとしての活動としては、5年生が2年生の注文を英語で伝える通訳になること

で、Unit に臨む必然性と意欲の高まりが期待できる。下学年と一緒に活動することで、これまでの「自分の思いや考えを伝えるためのコミュニケーション」という枠を超え、「他者を支える・他者同士をつなぐ (Assist) コミュニケーション」を図る楽しさや有用感をもたせたい。また、単元のゴールに向かって、欲しいものをたずねるたり伝えたりする表現、値段をたずねたり伝えたりする表現を、それぞれ段階を分けて慣れることができるようにしていく。それと共に、店員の接客の表現も知り、ゴールのレストランの活動では、お客様である2年生の思いを受け止めて伝える楽しさを感じながら、相手意識を十分にもったコミュニケーションになることを目指していく。

本単元の学習では、主体的・対話的で深い学びの実現をするために、お客様として招待する2年生に向けた招待状や、2年生のリクエストに合わせた「オリジナルメニュー」の作製にも取り組む。自分の考えや思いを伝え合うために「好きなメニューのリサーチタイム」を十分に確保する。また、活動を前半と後半に分け「伝え合い」がより洗練されるように「Good Point」を全体で確認する。さらに、児童自身の言葉での振り返りの視点をより明確にするために、記入前に「DAITO」の5つのチェックポイントの具体を全体で確認する。

3 単元の目標

- ・2年生に、レストランの注文を通訳する活動を通して、英語を使って注文したり、値段をたずねたりすることができる。

4 関連する学習指導要領における領域別目標

領域	学習指導要領における領域別目標
話すこと [やり取り]	ア 基本的な表現を用いて指示、依頼をしたり、それらに応じたりすることができるようにする。

5 評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと「やり取り」	<p>< 知識 > What would you like? / I'd like ~. や How much is it?などの表現について、また食べ物や飲み物を表す語について理解している。</p> <p>< 技能 > 食べ物や飲み物について、What would you like? / I'd like ~. や How much is it?などの表現を用いて、料理を注文したり値段をたずねたりする技能を身に付けている。</p>	<p>買い物をするために、食べ物や飲み物について、簡単な語句や基本的な表現を用いて、注文したり値段をたずねたりするやり取りをしている。</p>	<p>買い物をするために、食べ物や飲み物について、簡単な語句や基本的な表現を用いて、注文したり値段をたずねたりするやり取りをしようとしている。</p>

6 単元指導計画（全7時間）

単元のゴール

Daito レストランに2年生を招待しよう！

話すこと【やり取り】で評価

第7時 ◎レストランに2年生を招待し、通訳する。

- ・店員と案内役に分かれてレストランごっこを行う中で、2年生の注文を通訳して伝え合う。
- ・本Unitの学習を通しての自身の変容等について振り返る。

表現：前時まで扱ったもの 語彙：食べ物、飲み物、デザート、3桁の数字

〔手立て3〕単元の活動全体を通じた学びを振り返ることができるように、Here we go! シートを活用する。

【態度】買い物をするために、食べ物や飲み物について、簡単な語句や基本的な表現を用いて、注文したり値段をたずねたりするやり取りをしようとしている。

【思・判・表】買い物をするために、食べ物や飲み物について、簡単な語句や基本的な表現を用いて、注文したり値段をたずねたりするやり取りをしている。

第6時 ◎レストランで値段を確かめて注文する。

- ・レストランのメニューの値段を聞き取ったり値段を決めたりして、メニューを完成する。
- ・5年生のみで店員と客になり、レストランで値段をたずねて注文する。

表現：前時まで扱ったもの /All right./Here you are./ Enjoy your meal. 語彙：食べ物、飲み物、デザート、3桁の数字

〔手立て2〕注文する一連のやり取りができるようにするために、既習の使える表現を振り返って練習する。

【思・判・表】買い物をするために、食べ物や飲み物について、簡単な語句や基本的な表現を用いて、注文したり値段をたずねたりするやり取りをしている。

第5時 ◎ものの値段をたずね合う。

- ・世界各国の料理についての映像から、異文化への理解を深める。
- ・値段当てクイズをし、ものの値段をたずねたり答えたりする。
- ・ものの値段をたずねる文を書く。

表現：How much is it? / It's 4 dollars(400 yen). 語彙：食べ物、飲み物、3桁の数字、国

〔手立て2〕値段をたずねる表現に慣れるために、出題者を変えて値段当てクイズをするようにする。

【知・技】How much is it? / It's 4 dollars(400 yen).の表現と3桁の数字について理解し、値段を聞き取る技能を身に付けている。

第4時 ◎ものの値段をたずねたり答えたりする言い方を知る。

- ・ものの値段を聞き取り、値段をたずねる言い方を確かめる。
- ・世界のものの値段クイズをし、値段をたずねたり答えたりする言い方に慣れる。

表現：How much is it? / It's 4 dollars(400 yen). 語彙：食べ物、飲み物、3桁の数字、国

〔手立て2〕ものの値段をたずねるやり取りに慣れるために、繰り返し発音する場を設定する。

第3時（本時）◎学級で人気ナンバー1のメニューを調べる。

- ・注文する要領で丁寧な言い方をしたり、答えたりする。
- ・これまで学習した語句や表現を使って、自分が食べたいものを書く。

表現：What would you like? / I'd like ～. 語彙：食べ物、飲み物

〔手立て2〕学級で人気ナンバー1のメニューを調べるために、より多くの友達とやり取りできるようにする。

【知・技】What would you like? / I'd like ～. の表現と食べ物や飲み物が表す語について理解し、注文したものを聞き取る技能を身に付けている。

第2時 ◎丁寧に料理を注文する言い方を知る。

- ・注文したものを聞き取り、丁寧に注文する言い方を確かめる。
- ・カード並べをして、食べ物の言い方に慣れる。

表現：What would you like? / I'd like ～. 語彙：食べ物、飲み物

〔手立て3〕欲しいものをたずねる表現がより丁寧な表現に変化したことを知るために、これまでの既習を振り返る。

第1時 ◎Unit7のゴールと食べ物や飲み物、値段の言い方を知る。

- ・「レストランに2年生を招待して、店員と通訳になり、英語表現を使ってやり取りをする」という単元のゴールを確認する。（教師によるデモンストレーション）
- ・食べ物や飲み物、値段の言い方を知る。

表現：May I help you? / Yes, please. 語彙：食べ物、飲み物、3桁の数字

〔手立て1〕単元のゴールを捉えられるように、HRTとALTで店員と通訳がやり取りしているデモンストレーションを行う。

本Unitで身に付けさせたい、高めたい力

一連のやり取りを完結させるまでやり切る力、返答に対してさらに返答する力

7 授業構想の視点

【ALT の有効な活用】

- ・「オリジナルメニュー」の作成過程において、2年生に人気のある料理の表現の仕方を確認するなど、疑問に感じたことをALTにたずね、すぐに解決しながらコミュニケーションをしていこうという雰囲気及び態度を育むようにする。
- ・HRT及びALTで児童全員の「本時の達成度チェック」を行い、丁寧な見取り及び励ましを行う。
- ・ALTの視点による「Good Point」の提示及び共有により、より良いコミュニケーションの視点を多様にもてるようにする。

8 本時の指導

(1) 目標

丁寧な言い方で料理を注文することができる。

(2) 指導にあたって

- [手立て2]・学級で1番人気のあるメニューを知るために、やり取りする相手を明確にし、より多くの友達とやり取りできるようにする。
- ・やり取りのイメージを明確にもつことができるように、活動のモデルのパターンを児童同士、ALTと児童、ALTとHRT、HRTと児童など多様に明示する。

終末 10分	6 Let' s write. ・「本日のメニュー」から、自分が一番食べたい物を選んでシートに書く。	・ALT と HRT で正しく書けているか確認する。	・Here We Go ! シート
	7 Reflection ・Here We Go ! シートに記入する。	・振り返りの視点を明確に提示し、確認してから記入する。 ・ALT と HRT で、振り返りの見取りをする。	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>丁寧な言い方を使って伝えることができた。今日は、ジェスチャーやレスポンスがよくできたと思う。友達のアイコンタクトがよかった。次の活動で自分も使っていきたい。</p> </div>		
	8 Closing ・全体で挨拶をする。		